

みらいん

わかばやし

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



▶三本塚公会堂の前にて。
後ろに見える山神石碑、
お地蔵様は津波で倒れま
したが、地元の皆さんで
建て直しました

今月の
ひと

地域の再生を住民と共に

あす 明日の三本塚を考える会

居住と農業の安心を目指して

「本当は勝君が代表になるはずだった」明日の三本塚を考える会代表の小野吉信さんは語ります。昨年10月に急逝した相沢勝さんは、以前から小野さんら有志と共に三本塚地区の地域活性化に取り組んできたグループのリーダー的存在でした。小野さんは、そんな同志の遺志を引き継ぎ、会の代表として多忙な日々を送っています。

会が昨年実施したヒアリング調査は、三本塚で被災した104世帯全てに対し、20歳以上の全成人を対象に行われました。1世帯1回答ではなく、成人1人ひとりを対象としたのは、同じ家庭内でも、三本塚の将来像に対する意見は異なることも考えたからです。

「これからの三本塚を背負って立つ世代の意見も大事ですから、会のメンバーとボランティアの学生で手分けをして、自宅の方や仮設住宅の方、借上げ民間住宅の方も、1軒1軒訪問してヒアリングを実施しました。調査から結果解析までしんどい作業だったですよ」と、小野さんは笑いながら話してくれました。12月には、そのアンケート結果をもとに、要望書を仙台市へ提出したり、年明けからは、「東六郷地区住まいまちづくり学習会」を実施。最近では大学の研究室との打合わせや、行政との折衝の毎日が続いています。

「三本塚の再生は、三本塚の地域内で、三本塚の住民の手でやらなければならないからね」小野さんの言葉からは、地元を愛し、地域の将来を担う決意が溢れていました。



2012

4

第5号



「元々編物の師範でしたから、まず、編物教室を始める事にしました」という鈴木静子さん。他にも集会所にパソコンとインターネットを導入しようと協力企業に掛け合ったり、健康のために体操の指導を若林体育館に相談したり、常盤木学園吹奏楽部にクリスマスイベントの出演を依頼したり、フラワーアレンジメントの教室を企画したり、その行動力が自治会をにぎやかにしています。

「悩んでいないで、思いついたら行動してみるんです。こちらの状況をきちんと説明して欲しいすれば、大概の人には分かってもらえますよ。そして、昔から人の集まる事が好きなんです。ふふふ」そう笑う鈴木さんは、さらに大胆な行動に出ました。日本の編物界ではあまりにも有名な「ニットの貴公子」をこの仮設住宅に呼ぼうと思いつき、直接、貴公子こと広瀬光治さんをお願いしました。広瀬さんは快諾し、2月18日、その忙しいスケジュールの合間に仮設住宅を訪問し、4時間の編物講座開催となりました。男性役員3名は口を揃えて「鈴木さんにはかなわない」とその行動力を称えます。

庶務 鈴木 静子さん
(長町出身)



▲ニットの貴公子：広瀬光治さん



◀常盤木学園吹奏楽部のクリスマス演奏会

ゼロからの出発

卸町東2丁目公園仮設住宅に入居している皆さんは震災前に住んでいた地域もバラバラのため、コミュニティづくりはゼロからの出発でした。9月の住民総会では、会長の佐藤さん、副会長の阿部さんに加え、コミュニティのために何か協力したいと申し出た、鈴木さん、矢沼さんが役員に参加して、自治会が立ち上がりました。

やがて来る「卒業」の時に向けて

役員の話し合いの中で佐藤会長が提案した事は、自分たちはいずれは仮設の生活を卒業しなければならないのだから「単に支援を待っているだけの状態を続けられないようにしよう」「仮設住まいから次の段階へ、生活再建が出来るような心構えや意欲を高めるようにしよう」「自分たちで出来る事は自分たちでやろう」という点でした。この提案におおいに賛同した各役員は、それぞれの得意とする分野で、自治会活動を企画運営する事になりました。10月のいも煮会に始まって、クリスマス会、新年会など、自治会の主催イベントは参加者に参加費を負担してもらいながら続けています。集会所を利用した習い事の教室やサークル活動も、材料費などの費用は参加者が負担します。参加者は、わずかでもお金を負担する事によって、習い事への真剣さが増したり、イベントの企画運営にアイデアを出したり、積極的な方々が増えました。今では役員が企画しなくても、有志が集まって「つるし雛」を作るサークルが出来たり、自主自立の思いが芽生えています。



▲フラワーアレンジメント教室

◀イベントは回を重ねるごとに参加者が増えてきました

卸町東2丁目公園仮設住宅自治会

次のステップへ、生活再建への一歩は自主自立から



会計 矢沼 達夫さん
(荒浜出身)

「震災時、見知らぬ方に家族が津波から助けられたので、今度は自分が皆さんの為になりたいと考えたのです。とにかく、じっとしてられなかった。何かしなければと思っていました」。会社員の矢沼さんは忙しい日々の時間を割いて、議事録や配布文書の作成でバックアップしています。

「目的を持って自分たちから動き出す事が大事だと思います。今考えなければならないのは、次の世代にとってより良いまちづくりをすること。これが、復興の大きな目的です」と地域の将来に関心をよせます。

リフォーム業を営んでいましたが被災し仕事場や道具を失い、避難所生活へと環境が一変しました。

8月に卸町東2丁目に来たところ「仮設敷地内に雑草が生い茂るのを見かねて草むしりをしていたら、佐藤会長に声をかけられたんですよ」。仮設住宅での生活をより良くするためには自治会を作らなければ、と佐藤会長と共に自治会設立へ動き出します。「阿部さんは、気は優しく力持ち、男が惚れる男ですよ」と佐藤会長。



副会長 阿部 諭さん
(七ヶ浜町出身)

庄子昭一 さん

六丁の目中町西公園仮設住宅自治会会長

佐藤四郎会長とは、七郷中学校の同窓で、自治会長になって、どこかで見た顔だと思ったら中学の先輩。卸町東2丁目イベントがある時は度々参加しています。佐藤会長は、生真面目で一本気なところがあり、新設の自治会を引っ張って行く立場にピッタリの人物だと思います。自分は六丁の目町内会の役員でもあるから、町内会の催事には是非参加して欲しいです。仮設住宅とも地域ぐるみで助け合っていきたいですね。

貴田勝彦 さん

JR南小泉仮設住宅自治会役員

避難所の若林体育館で佐藤四郎さんとは何かと話し合う機会が多かった。彼が仮設住宅の自治会長になったのは、責任感と使命感だと思うよ。色々と折衝を重ねて自分が最初に入った場所だから、後から入ってきた皆さんが暮らしやすい環境を作りたいのだと思う。入居者も増えて、自治会としてのまとまりも出てきたと聞いて、とてもうれしく思っていますよ。その自立を目指した活動は評価できるものですね。

朝倉美幸 さん

避難所時代の臨時職員

体育館の中で暇があればいつも本を読んでいた姿が印象に残っています。頭の良い方で、いろいろな話を私達職員にもたくさんしてくれました。若林体育館に最後まで残っていましたから、仮設住宅の自治会長を引き受けた事を聞いて少し驚きましたが、奉仕の気持ちが強い方ですから適任だと思います。自治会の自立も生活の自立も、今後は出来るだけ無理をせず自分達にある物で工夫をして、地道に活動を続けていく事が大事だと思います。

やりみず 鐘水俊輔 さん

原クリニック、精神保健福祉士

(社)日本精神神経科診療所協会「心のケアチーム」として、避難所時代から被災者の精神的ケアに取り組んでいます。佐藤会長とは避難所の頃からの付き合い。仮設住宅に入居し、自治会立上げに奮闘する熱意に共感しました。自治会長になってからは、ますます元気になって、生き生きと取り組んでいるように見えます。熱い目標に向かって進んでいくことが、自立につながるのではないのでしょうか。

佐藤会長

そして自治会へのエール

避難所時代から市との連絡を密にし、自治会設立後も、集会所の運営方法や仮設周辺の安全対策など、役所との調整を続ける会長が、自立を促す立役者です。「誰かが何かをしてくれるまで待つてはだめだと思ってやってきました。また、イベントなども自治会独自で企画運営をするように心掛けています。習い事だつて、ただで教わっても覚えられない。たとえ少しでも授業料が必要です。自治会の運営ではとてもスタッフに恵まれていて、入居者の皆さんにも大変助けられています。イベントでは、皆さん進んで協力してくれるんですよ。ここでの暮らしを楽しく過ごす事がまず大切ですが、次に待っている個人個人の生活再建に向けて、少しずつでも、気持ちを自立へと高めなければいけないと思っています」



会長 佐藤 四郎さん
(荒浜出身)

被災地レポート

取材地

被災農地を耕す 二木山王地区

俺は農家だ、という意地
被災一週間で農業再開へ

「自然を相手に自然から恵みを得て、自然の猛威でこうなったんだから、逆らってもどうにもならない。それよりも、起きたことを受け止めて、これからどう生きていったらいいかを考えた方がいいんじゃないかなあ」。自宅も農地も津波に襲われながら、震災後すぐに復旧に向けて動いた、二木山王地区に住む堀江吉夫さんは、しみじみこう語ります。



堀江さん所有の被災農地0.9%のうち、4月初めまでには0.6%が回復。残り0.3%は土がえぐられ、回復の見通しが立たない状態です

妻くに子さんと、レタスと小松菜を主力に栽培している専業の野菜農家です。所有、栽培を手掛けてきた畑は合わせて一・三畝でしたが、そのうち〇・九畝が津波をかぶりしました。

震災直後、災難に遭った多くの農業者が農業再開に絶望的あるいは悲観的でした。ところが、堀江さんは違いました。「はじめは、専業農家としては『どうしたらいいものか？』って考えた。ほかの皆は、『農業は』やめた、やめた』って言う人がほとんどだった。でも、農家としてのプライドっていうか、意地っていうか、『やっぱり、俺には農家しかねえなあ』なんて考え直したのさ」。堀江さんが農業を再開することに、当時は同調する人はいなかった。そうです。妻のくに子さん以外は、「農業をやめるなんて考えられない！ っ、私も思っていましたよ。最初はだれも賛成しなかったんだけどさ、いざ動き出したら、友だちが次々にやって来てさあ、中には重機持ってきてくれるのもいて」。ガ

レキが散らばる中で農機具の洗浄から始めた「農業再開」。震災後一週間も経っていませんでした。

前年同量収穫という快挙
改めて農業の深さを知る

自衛隊によるガレキ撤去の次に問題だったのは、土中の塩分濃度でした。最初に畑で土の電気伝導度(EC)を測ったところ、数値は四・三。「通常、サニーレタスは〇・八。小松菜は一・〇。一・二を超えると野菜は採れない(といわれている)」。でも、そこで諦めませんでした。「土の上と下を何度も何度も混ぜたら、一・五に下がった。見るに見兼ねた友人が、『こいつも使え』って、シヨベルカーを持ってきてくれた」

五月末、震災後初めての植え付け。収穫は七月初旬でした。「前年と同じぐらいの量を収穫でき、味、形ともに普段とほとんど変わらなかった」と堀江さん。市場の反応はどうだったのでしょうか? 「これまで卸してきた市場に持っていったら、歓迎



農業仲間の手を借りて畑に育った小松菜。堀江さん夫妻も、仲間の農地で積極的に手伝いをしています

されたよ。「大丈夫か?」って心配する声もあったけど、食べた時の感触の良さや塩辛さが無いのもちゃんと調べてお墨付きをもらったから」。通常取引が再開するのにほとんど支障はなかったようです。こうした経験を踏まえ、堀江さんは言います。「やっぱり、思い切っただけに動いて良かったんだと思う。それにさ、農業って、奥が深く、面白く、楽しいんだよ。手をかければかけるほど、ちゃんとよく育つし、よく売れる」。夫の横で、妻のくにさんはこう話しました。「人生まだまだ長いですから作ります、野菜を。私たちが農業を続けていくことで、同じく被災した農家の人たちが、また農業を再開するきっかけや励みになればいいなあ、って思うんです」。

情報掲示板

仮設住宅や近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

あなたの街の配達薬局

医療機関で出された処方箋をFAXで知らせれば、自宅や勤め先まで薬を届けてもらえる「わかば薬局(太白区山田上ノ台町)」のサービスです。FAX送信後は、電話で届け先と希望配達時間を確認。配達時には処方箋と薬代を渡し、薬を受け取る仕組みです。

対象 仙台市全域。配達無料
受付 9:00~17:30。定休日は土日祝日
☎ 022-352-7682 (FAX兼用)わかば薬局

ふれあい喫茶

お茶を飲みながら、コサージュづくりをします。お茶飲みだけでも参加OKです。参加無料。申込不要です。

対象 どなたでも参加できます
時 4月12日(木) 10:00~12:00
所 みやぎ生協沖野店メンバー集会所
(仙台市若林区沖野3-13-15、店舗2階駐車場内)
☎ 022-218-5331 みやぎ生協仙台ボランティアセンター

「無理なく通える学習支援センター」利用者を募集しています

大学生や社会人による学習補助です。利用回数や教科数に限らず固定会費となります。見学歓迎!

対象 小学4年~中学3年生 ※他学年はご相談ください
教科 数学、英語中心(国語、社会、理科もサポートします)
時 火~金曜日 19:00~20:30
※ 16:00~19:00は自習スペースとして開放
所 仙台市宮城野区榴岡5-3-21コーポ小松101
費用 月会費5000円(話し合いの上、無理のない会費を決めます)
申込方法 電話かメールでご連絡下さい
☎ 電話022-781-5576 NPO法人アスイク
Eメール: info@asuiku.org
http://asuiku.sendai-net.com/

健康相談などのお知らせ

電話: 022-282-1111 (若林区家庭健康課・障害高齢課)

相談名	開催日	時間	会場	内容	担当	問合せ先
母と子の健康相談	4月27日(金)	13:30~14:30	若林区役所3階	育児の心配や母と子の健康についての相談	保健師・栄養士・歯科衛生士	家庭健康課 内線6775
	4月10日(火)	9:30~10:30	七郷保健センター			
	4月13日(金)	9:30~10:30	六郷保健センター			
子どものこころの相談室	4月12日(木) 4月26日(木)	午後・予約制	若林区役所3階	震災後の子どものこころの健康に関する相談(要予約)	児童精神科医	
こころの健康相談	4月5日(木) 4月11日(水) 4月19日(木) 4月20日(金)	13:30~16:00	若林区役所3階	こころの健康に関する相談(要予約)	精神科医師・精神保健福祉相談員・保健師など	障害高齢課 内線6752
震災こころの相談	随時 (土日祝日除く)	8:30~17:00	若林区役所1階窓口など	震災によるストレスやこころの相談		
高齢者総合相談	随時 (土日祝日除く)	8:30~17:00	若林区役所1階窓口など	高齢者の健康や介護・福祉の相談	保健師など	障害高齢課 内線6307

ベビーマッサージ教室

ベビーマッサージやお茶会を楽しみながら、宮城県内の開業助産師グループ「みやぎげんき助産師チームMIJO(ミジョ)」が育児の疑問や心配事にお答えします。

対象 生後2~8ヵ月前後(寝返りを打つまで)の赤ちゃんを育てているママならどなたでも
時 4月17日(火)9:30~11:30、13:00~15:00の2回。午前は先着20組、午後は先着8組。参加無料
所 仙台市太白区中央市民センター和室
持ち物 パスタオル、タオル
☎ 090-9531-4424 岩佐あけみ(助産師)

多重債務でお悩みの方はいませんか?

自らの収入で返済できないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。相談者の抱える借金の状況を丁寧にお聞きするとともに、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行っています。相談無料・秘密厳守。

対象 多重債務でお悩みの方(自営業者の方も含む)
時 月~金曜日(祝日、年末年始除く) 9:00~17:45
所・問 東北財務局 金融監督第三課
仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎4階
022-266-5703(直通) 022-263-1111(内線3080)

介護一日講座

介護実習などを通じて、介護の基本を1日で学びます。

対象 仙台市内にお住まいかお勤めの方で定員40人
介護テキスト代500円(希望者のみ)
時 4月20日(金) 10:00~15:30
所 仙台市シルバーセンター6階第2研修室(青葉区花京院)
☎ 022-215-3711 仙台市健康福祉事業団介護研修室

土地家屋調査士による無料相談会

建物の新築・増築・取り壊しの登記など「表示登記」に関する相談や、土地の測量、境界問題、道路問題に関する相談を受け付けます。

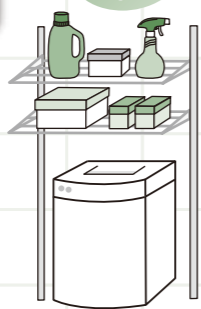
対象 どなたでも参加できます
時 毎月第2土曜日 10:00~13:00
所 荒井小学校用地仮設住宅集会所
☎ 022-225-3961 宮城県土地家屋調査士会仙台支部

快適生活

水まわり収納術

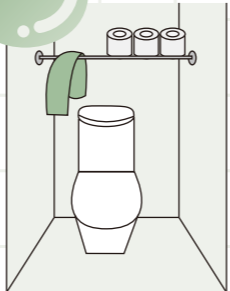
台所、トイレ、洗濯機置き場など、水まわりを有効に活用する整理収納方法をご紹介します。前回に引き続き、整理収納ライフアドバイザーの澁川真希さんにうかがいました。

ランドリー



洗濯機まわりに収納が無い方は上部の空間を利用しましょう。ラックを置くなから、組み立て、設置が手軽で軽量なつっぱり棒タイプがオススメです。小物は箱などを活用して見やすくまとめて収納しましょう。

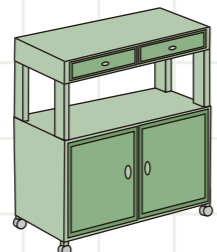
トイレ



置き型のラックや吊り下げタイプの棚など、トイレ用の収納グッズは数多くありますが、今回ご紹介するのはつっぱり棒1本だけのお手軽収納法。トイレタンク後方の壁につっぱり棒を渡すだけ。トイレトーパーやタオル掛けに使える簡易収納になります。奥行きは使いやすいように調整しましょう。

キッチン

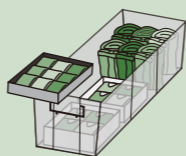
台所で活用したいのがキッチンワゴン。ワゴン下部にたっぷりの収納スペースがあり、天板は調理台や配膳用のお盆代わりにもなります。キャスター付だから使わない時は、壁際に寄せておけば邪魔になりません。最近は折りたためるものなど、さまざまなタイプが販売されています。



番外編収納術

透明ケースの収納ポイント

前号の押入れ収納術で紹介し切れなかった、収納術をご紹介します！大きき違いの箱を重ねたり、紙袋に入れたりして、下着や小物の収納に使えます。ジーンズやジャージなど、しわになりにくい衣類は丸めて立てておけば、見やすく取り出しやすいですね。厚手の衣類は圧縮袋に入れてコンパクトに。



無駄を見極めて新たな収納空間を作る

毎日使う水まわり環境には、掃除用具のほか、洗剤など消耗品があふれがち。余分なストックを増やさないと大前提に、必要なものを使いやすく整理するための収納スペースを作りましょう。



COMFORT STYLE
代表 澁川真希さん
TEL 022-771-1088

整理収納ライフアドバイザー
NPO ハウスケーピング協会認定講師
インテリアコーディネーター
福祉環境コーディネーター2級

整理収納に関するコンサルティングや、出張講座など、整理収納に関するさまざまな相談を受け付けています。

イラスト/米森美香子、南大地(東北工業大学)

震災困りごと Q&A ~紙上弁護士相談~

Q 離婚により、妻(夫)と子どもと別居し、養育費を支払っていましたが、震災により被災したため、従前どおりの養育費を支払うことができません。どのようにしたらよいのでしょうか？

A 養育費をいったん決めた後であっても、妻(夫)に対して、従前の養育費を決定した後に、事情が変更したとして、養育費の減額を求めることができます。

まずは、妻(夫)に対し養育費を従前どおりに払えない事情を話し、養育費の減額を申し込んで下さい。そこで養育費についての合意ができれば、合意された額を今後払うことになります。

話し合いにより合意ができない場合には、調停によって養育費の減額を協議することになります。その場合、妻(夫)の住所地を管轄する家庭裁判所に調停を申し立てることになります。

調停では、調停委員という中立的な立場の仲介により、あなたと妻(夫)との間で養育費についての合意を形成することになります。待合室があなたと妻(夫)とで別々となっており、交互に調停室に入って、調停委員の方と話をするため、お互いに顔を合わせずに手続きを進行させ

ることも可能です。

調停において、合意が形成されない場合には、審判に移行し、家庭裁判所が養育費の減額が認められるか、認められるとしてその額はいくらかを判断することになります。その判断の際には、民法上「協議又は審判があった後事情に変更を生じたときは、家庭裁判所は、協議又は審判の変更又は取消しをすることができる」とあるため、従前の養育費を取り決めた協議または審判の後にその額を変更する事情があるのか、変更する事情があるとして、現在のあなたの状況や妻(夫)の状況等を総合的に判断し、養育費をいくら払うのが妥当なのかについて決めることになります。その際には、あなたと妻(夫)の収入が大きな要素として判断され、養育費が決定されます。

今回の先生は・・・

平日無料法律相談の連絡先

仙台弁護士会法律相談センター

仙台市青葉区一番町2-9-18
TEL: 022-223-2383(予約不要。月・木は夜間相談あり)

プロフィール **小園 彰** 弁護士
こ その あきら
仙台弁護士会所属(舟木法律事務所)
東北大学ロースクール卒。



予防のポイント
心の揺らぎを和らげる一つの方法として、なるべく人と交流する機会を増やしてみることです。家族や友人、近所の方々などとお話の機会を増やし、他愛のないことでもいいので話をしたり、笑ったりしましょう。そのこと自体は、抱えている悩みや問題の解決には至ら

発災から一年が過ぎました。大規模災害による喪失を伴う方が多く、これまで何とかしのいで来られた方も、疲労による体の不調や震災を思い出してつらくなることがあります。このような反応は震災のような大きな出来事の後には誰にでも起こり得ることです。「気力の問題だ」「自分が弱いせいだ」などと精神論で無理やり抑え込むことは避けてください。

心の安定化



健康ナビ

ないかもしれませんが、一人で抱え込まないことが大切です。被災した方同士で話してみるのいいかもしれません。同じような体験をした人だからこそ分かり合えることも多いはず。そして話をすることで、安心感につながり、気持ちを楽しんでくれることもあります。無理に平気なふりをせず、気になる症状のある方は遠慮せずに専門家に相談してください。

「震災後の生活困りごとと、こころの健康相談会」

震災後の生活の困りごとと司法書士が、心と身体の健康相談に保健師や臨床心理士、精神保健福祉士が相談に応じます。(予約制)

- 日時 毎月第2火曜日 13:00~16:00
- 場所 宮城県司法書士会館(青葉区春日町8-1)
- 申込み窓口 宮城県司法書士会館 022-263-6755

心の健康について電話でご相談下さい

- はあとライン 平日(祝日、12/29~1/3 除く) 022-265-2229 10:00~12:00、13:00~16:00
- ナイトライン 年中無休 022-217-2279 18:00~22:00

上記相談についての総合問い合わせ
仙台市精神保健福祉総合センター (はあとぼーと仙台) 022-265-2191

「類笑求朋」

被災地でマスコミのインタビューを受ける方々のほとんどが(胸中はそれどころぢやないでせうに)笑顔で受け答へなさいませう。不思議です。斯く言ふ私も、山門が倒壊寸前、本堂の壁は落ち、仏具は吹っ飛び破損し、そんな中で茫然と佇んでゐたとき、お見舞ひに駆けつけて下さった人達に対して、無意識にニコニコ顔で対応してました。私共のこの身は実に正直者で、淋しさの余り朋友を求めた故でせうか(相手に不快感を与へまいとして)優しい心配りが思はず自然に類笑みとなって出てしまふのでせう。俳優の竹中直人が一頃「笑顔のまままで激怒する人」をギャグとして演じてをりましたが、ああいふことは私人間は絶対できないのですよ。寒い/痛い/苦しい/腹減った/なども皆、生きたがってゐる我が身の正直な叫びです。泣き笑ひのこの人生。生きてゐればこそですよ。

佐藤和丸

佐藤和丸(さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

このコラムのタイトルは、文章の内容に合わせて和丸住職が創作した四字熟語です。皆さんの想像力で読み方や意味を考えてお楽しみください。

満開の桜を眼下に

遠きいにしえに思いを馳せる

若林城に隠居した政宗公。あるとき遠眼鏡で四方を眺め、「遠くに見える塚は何か」と家来にたずねました。家来はとっさに「遠くに見えますれば、遠見塚に候」と答えたのだとか。これが現在の呼び名となった国指定史跡の「遠見塚古墳」。

全長百十メートル、後円部分の直径六十三メートル、仙台バイパスから眺めてもその大きさがわかるように、県内第二位の規模を誇る前方後円墳です。発掘調査から、四世紀末～五世紀初頭にかけて、この地域一帯を支配した首長が埋葬されていたと考えられており、史跡公園として整備された現在は、近隣住民の憩いの場となっています。

四月、墳丘からは隣接する遠見塚小学校の桜並木を望むことができます。のどかな春の日、満開の桜に会いに、いにしへの丘へ出かけませんか。



▲春夏、墳丘は緑に覆われます

所在地：仙台市若林区遠見塚
アクセス：仙台市営バス「遠見塚小学校前」下車

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1		2		3		4
		A				
5	6			7	8	
				B		
9			10		11	
12			13	14		
					C	
	15	16		17		
18		19				20
					D	
21	E			22		

タテのカギ

- 『イーグスル音頭』などで宮城を中心に活躍する民謡歌手、〇〇〇〇 恵子
- 物の裂けた部分
- 華々しく始まるのは、〇〇を切って落とす
- 仙台駅前の大型店舗は市民のみならず県民の思い出の場所。現在は『EBeanS』となった、〇〇〇〇チェーン
- タテ4のオリジナル人気キャラクターだった、〇〇〇〇ボンボン
- 人気や評判などが低くなってしまったこと
- 家の中で、家族がふだんくつろぐ部屋
- ラジオの昼ワイドやテレビでもおなじみ、東北放送の〇〇〇〇智子アナ
- 石森プロが生んだ石巻市のローカルヒーロー、シージェッター〇〇〇
- 不動産の表示の基準では、〇〇1分の距離は80m
- 「〇〇の都」の名にふさわしく、仙台市には春の新緑や桜の名所が数多い

ヨコのカギ

- 仙台市と登米市役所前を結ぶ高速バスは、仙台-〇〇〇線
- 名言「〇〇〇の来ない夜はない」
- 「仙台が好き。」といった文章の「。」のこと
- 繁栄も衰退も常に同じ道をたどる関係は、〇〇〇〇共同体
- 仙台市はアテネやサンフランシスコなどとほぼ同じ〇〇〇の上にあります
- 青葉区役所近くにある、〇〇通信社仙台支社
- ベガルタの応援でスタンドを彩るアイテムのひとつ、タオル〇〇〇〇
- 体操で、男女に共通する種目は、跳馬と〇〇運動
- 回転運動の中心やその棒
- 腹がへっては〇〇〇は出来ぬ
- 仙台駅にも停車。人気の寝台特急、〇〇〇星
- イチゴの生産で知られ、仙台東部道路の起点でもある〇〇〇町

前回のこたえ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
ヒ	ト	ア	サ	イ	チ										
5	ロ	ウ	6	バ	イ										
						7	ヨ	エ	8	マ					

フ キ ノ ト エ
でした。

毎日仙台を東西に横断して仕事をしています。日に日に感じる事は、ビル街の喧騒が以前のように戻りつつある事と、東部地域は以前よりも強い風が吹きぬけている事です。(きうち)

先日、ある仮設住宅の集会所にブラジルのテレビが取材にやってきました。近くを取材中に賑やかなお茶飲み風景が目に入ったとのこと。地球の真裏の放送が気になる今日この頃です。(さとう)

..... 情報提供のお願い

「みらいん」は、皆さんと一緒に作り、歩む情報紙です。紙面に対するご感想や、紹介したい人や場所、今抱えている思いなどのコメントをハガキ、FAX、メールでお寄せください。読者の皆さんの思いを、紙面に反映していきます。

送付先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12
「みらいん」編集部
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp